

- スキャンツール(VCI)のサイズによっては直接OBDコネクタへの挿入ができない可能性がある。
- 海外においては、延長ケーブル(SAE規格準拠品)を利用してVCIを挿入していた(左下図参照)。
  - ・ コネクタの標準規格であるSAE J1962では、車両側のコネクタ形状及び挿入時のクリアランス(コネクタ周りの空間)を確保するための要件(空間要件)が規定されている。  
(日本のOBD検査制度においては、検査用スキャンツールの型式認定時に延長ケーブルも含めて認定された場合のみ、延長ケーブルの使用が可能。)

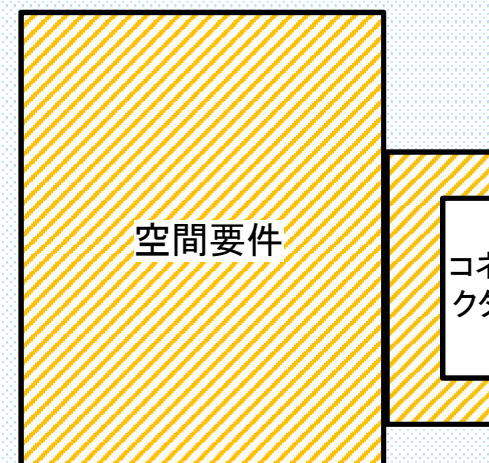
※(独)自動車技術総合機構 OBD情報・技術センター調べ



延長ケーブルを使用した例(海外)



VCI



SAE J1962の空間要件イメージ



延長ケーブル(OBDケーブル-オスメス端子)は数千円以下で市販されている。